

第38回全国選抜高校テニス大会
出場校一覧(男子)

2016/2/1

地区	県名	出場校		
北海道 (2)	北海道	①札幌日大【16回目/2年ぶり】②北海道尚志学園【3回目/3年連続】		
東北 (4)	青森	①岩手【15回目/4年連続】		
	岩手	②東北学院【5回目/3年ぶり】④東陵【6回目/4年ぶり】		
	宮城			
	秋田	③日大山形【10回目/4年連続】		
関東 (10)	山形			
	福島			
	茨城	⑩文星芸大付【3回目/4年ぶり】		
	栃木			
	群馬			
	埼玉	⑤川越東【6回目/5年連続】⑧立教新座【12回目/18年ぶり】		
	千葉	③東京学館浦安【15回目/13年連続】④秀明八千代【7回目/4年連続】		
東京	①大成【6回目/5年連続】⑥日大三【8回目/16年ぶり】			
北信越 (4)	神奈川	②湘南工大付【27回目/2年ぶり】⑦法政二【16回目/4年連続】		
	山梨	⑨駿台甲府【初出場】		
	新潟	①東京学館新潟【12回目/2年連続】		
	富山	③富山第一【初出場】		
東海 (5)	石川	④敦賀気比【13回目/2年連続】		
	福井	②松商学園【23回目/18年連続】		
	長野	⑤静岡市立【7回目/4年ぶり】		
近畿 (8)	静岡	①名古屋【28回目/23年連続】②名古屋経大市邨【11回目/11年連続】		
	愛知	④岐阜卓商【17回目/6年連続】		
	岐阜	③四日市工【35回目/13年連続】		
	三重	⑤光泉【10回目/8年連続】		
	滋賀	③京都外大西【5回目/5年連続】⑦東山【25回目/13年連続】		
中国 (4)	京都	④履正社【5回目/2年連続】⑥清風【38回目/38年連続】		
	大阪	①相生学院【7回目/7年連続】②西宮甲英【初出場】		
	兵庫			
	奈良	⑧開智【7回目/11年ぶり】		
四国 (4)	和歌山			
	鳥取			
	島根	①岡山理大付【25回目/6年連続】③岡山学芸館【6回目/6年ぶり】		
	岡山	②崇徳【2回目/5年ぶり】		
九州 (7)	広島	④山口【4回目/2年連続】		
	山口	②城南【9回目/4年連続】		
	徳島	①高松北【22回目/2年ぶり】		
	香川	③新田【19回目/3年連続】		
九州 (7)	愛媛	④土佐【2回目/37年ぶり】		
	高知	①柳川【37回目/7年連続】⑥九州国際大付【20回目/8年ぶり】		
	福岡	③海星【22回目/5年連続】⑦長崎北陽台【3回目/27年ぶり】		
	佐賀			
	長崎	②大分舞鶴【16回目/10年連続】		
	熊本	④宮崎日大【2回目/4年ぶり】		
大分	⑤鳳凰【16回目/14年連続】			
宮崎				
鹿児島				
沖縄				
補欠校		開星(島根)	出場校合計	48校

○内の数字は地区大会順位
地区の()内の数は出場校数

シード校	大成(東京)、名古屋(愛知)、相生学院(兵庫)、柳川(福岡)
選手宣誓校	土佐(高知)

第38回全国選抜高校テニス大会
出場校一覧(女子)

2016/2/1

地区	県名	出場校		
北海道 (3)	北海道	①札幌清田【32回目/3年連続】②北星学園女【2回目/2年連続】 ④帯広南商【初出場】		
東北 (3)	青森			
	岩手			
	宮城	③聖和学園【初出場】		
	秋田			
関東 (11)	山形			
	福島	①日大東北【5回目/3年連続】②磐城桜が丘【6回目/2年連続】		
	茨城	⑦東洋大牛久【3回目/2年連続】		
	栃木			
	群馬	⑪前橋育英【4回目/9年ぶり】		
	埼玉	②浦和学院【27回目/5年連続】④山村学園【6回目/2年連続】		
	千葉	③東京学館浦安【7回目/8年ぶり】⑧東京学館船橋【3回目/3年ぶり】		
	東京	①早稲田実【10回目/5年連続】⑥堀越【8回目/10年ぶり】		
神奈川	⑤白鵬女【3回目/3年連続】⑩東海大相模【30回目/3年ぶり】			
北信越 (5)	山梨	⑨山梨学院大付【3回目/3年ぶり】		
	新潟	④新潟第一【5回目/3年連続】		
	富山	③富山国際大付【23回目/10年連続】		
	石川	⑤北陸学院【初出場】		
東海 (4)	福井	①仁愛女【36回目/36年連続】		
	長野	②松商学園【24回目/22年連続】		
	静岡	④静岡市立【22回目/3年連続】		
	愛知	①椋山女学園【22回目/3年ぶり】②愛知啓成【3回目/3年連続】		
近畿 (7)	岐阜	③四日市商【13回目/2年ぶり】		
	三重			
	滋賀	⑥東大津【2回目/2年連続】		
	京都	②京都外大西【8回目/8年連続】③同志社女【6回目/2年連続】		
	大阪	④大商学園【5回目/3年連続】⑦大商大塚【初出場】		
中国 (4)	兵庫	①相生学院【4回目/4年連続】⑤園田学園【36回目/2年ぶり】		
	奈良			
	和歌山			
	鳥取			
四国 (3)	島根	②開星【5回目/6年ぶり】		
	岡山	③岡山学芸館【15回目/12年連続】		
	広島			
九州 (8)	山口	①野田学園【7回目/6年連続】④西京【12回目/8年ぶり】		
	徳島	①城南【2回目/2年連続】③徳島商【7回目/3年ぶり】		
	香川	②高松北【21回目/5年連続】		
	愛媛			
	高知			
	福岡	②柳川【37回目/2年ぶり】⑥折尾愛真【14回目/2年ぶり】		
	佐賀	⑦鳥栖商【初出場】		
長崎	⑧九州文化学園【4回目/4年連続】			
九州 (8)	熊本			
	大分	④福德学院【8回目/2年連続】		
	宮崎	⑤宮崎商【15回目/15年連続】		
	鹿児島	③鳳凰【23回目/21年連続】		
沖縄	①沖縄尚学【5回目/3年連続】			
補欠校		松本第一(長野)	出場校合計	48校

○内の数字は地区大会順位
地区の()内の数は出場校数

シード校	早稲田実(東京)、椋山女学園(愛知)、相生学院(兵庫)、沖縄尚学(沖縄)
選手宣誓校	鳥栖商(佐賀)

第38回全国選抜高校テニス大会 選考委員会枠選出について

	校名	都道府県名	選考理由
男子	東陵	宮城県	震災後、生徒数が激減し地区大会にも出場できない状態が続いたが顧問を中心に熱心に取り組み、力をつけた。震災から5年が経過したとはいえ地区の復興は進んでいないのが現状。出場できれば気仙沼地域にとって明るい話題になると考えた。
	開智	和歌山県	大阪・京都・兵庫が歴代の地区大会優勝校を占める中、唯一3県以外の学校で優勝した経歴を持つ古豪。近畿地区の学校は近年の総体・選抜で上位を占める激戦区であり、大阪・京都・兵庫の学校に全国大会出場校が集中するため、他県にもチャンスを与えたいと考えた。
	土佐	高知県	県下有数の進学校でテニス部からも医学部進学実績がある。今回の地区大会運営でも中心的な役割を果たした。小学生向けのテニススクールを実施したり地域の花火大会の清掃活動に参加したりなど地域貢献活動も積極的に行っている。出場すれば第1回以来、37年ぶりとなる話題性も考慮に入れた。
女子	帯広南商	北海道	男女共に札幌に強豪校が集中する中、地区大会で健闘した。十勝地区から初の出場校となる。地域に支えられ初心者から選手が育っており、地区大会運営にも貢献した功績も評価した。
	前橋育英	群馬県	選抜や総体にも出場歴のある古豪。県外に有力選手が流出する中、地元の出身者が部員の中心。有力選手の渡辺を柱にチームがまとまり全国大会でも活躍が期待できる。
	九州文化学園	長崎県	創部5年ながら過去3回連続出場の実績を持つ。今年は戦力的に歴代に劣りながらも地区大会では粘り強さを見せ、九州地区8位と健闘した。

第38回全国選抜高校テニス大会 変更点

2016/02/02

全国選抜高校テニス大会 実行委員会

- 1 各地域への割当枠の変更を2年にわたり検討してきましたが、今年度より実施しました。具体的には「地域への加盟校数に比例する」ことを原則として、基本数を算出しています。また、強度枠として数年間のベスト8進出校の実績から算出した数を該当地域へ割り当てとしてきたものを、前年のベスト4の地域にボーナス出場枠として割り当てることに変更しました。
- 2 すべての出場枠を見直したことに伴い、これまで選考委員会枠を4チームとしていたものを3チームに変更しました。
- 3 選手等への負担軽減のため、団体戦のQF（準々決勝）を8ゲームズプロセットとしました。これにより、1回戦、2回戦は1セットマッチ、3回戦、QFは8ゲームズプロセット、SF、Fは3セットマッチとなります。
- 4 審判を九州テニス協会の協力を得て、SCU制としました。これに伴い、大会本部ではRU（ロービングアンパイア）を用意しますので、試合進行について何かあればRUにお願いします。